

令和3年度指定管理者業務モニタリング評価表

施設名	民俗資料収蔵室
所在地	豊橋市多米町字滝ノ谷34番地1の1
指定管理者	多米校区文化協会
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
担当課	教育部美術博物館(0532-51-2882)
令和2年度指定管理料(決算)	945千円
令和3年度指定管理料(決算見込)	953千円

項目		基準	評価				
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	仕様書に基づき適正に行われている。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	計画書の通り自主事業が実施された。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	仕様書に基づき人員配置がなされている。労働環境は関連法令等が遵守され、適正なものとなっている。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に依り職員研修が実施されているか。	業務従事者に管理運営の適切な実施について指導を行っている。				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	適正に管理されている。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	緊急時には美術博物館への連絡を行うことになっている。危機管理マニュアル等の整備等もしており、危機管理に対する取り組みがなされている。				
施設利用状況に関する事項	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	確保されている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。(利用状況を数値化して令和2・3年度を比較)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較(R3-R2)
			開館日数	158日	118日	146日	28日
			利用者数				
			a. 個人	1,208人	1,448人	1,818人	370人
b. 団体	3,333人	816人	3,573人	2,757人			
【要因分析】 コロナウイルスにより、大幅に減少していた団体利用者が令和元年度と同数程度に増。以下に記載の取り組みの効果もあり、前年度に引き継ぎ個人利用者も増加した。							
サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	ロケーションや特色を生かしたアプローチ(宣伝活動等)を行い、他団体と協力をしながら来場者数の向上を図った。 ・NPO法人「MixUp」による、給食室を利用した教育活動 ・クラシックカー・フェスティバル豊橋実行委員会による、「CLASSIC CAR FESTIVAL TOYOHASHI」の開催					
利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく)	令和元年4月～令和2年3月に独自の利用者アンケートを実施 運営全般に関して とても満足 57.9% 満足 21.1% ふつう 10.5% やや不満 10.5% 大変不満 0% 「とても満足」「満足」が79%と多数を占めるが、「ふつう」の回答が10.5%、やや不満を感じている利用者が10.5%という結果になった。					

意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容		対応		
		懐かしいものが綺麗に保存してあって良かった		引き続き、民具等の良好な状態保存に努める		
		全体的に部屋が暗い		室内の様子を鑑みて、照明を点灯した		
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	利用者数からの要望がある場合には適切に対応している。				
管理経費等の収支状況等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に行われている。また、指定管理業務とその他の業務を区分し適正に経理されている。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。	乖離していない。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	953千円	指定管理事業費	953千円
			利用料金収入		自主事業消耗品費	5千円
			自主事業収入			
その他収入						
		収支差額		▲5千円		
指定管理者の自己評価	<p>仕様書に基づき適切に業務を行った。こまめに点検を行い、破損や不良部分を遅延なく美術博物館に報告した。昨年、好評だった「こいのぼり」を季節の展示として引き続き掲示した。</p> <p>メディア(新聞)に積極的に宣伝活動を行ったこともあり、来場者が増加傾向となった。また地元の協力で給食室が再生でき、利用の仕方が広がったため今後に期待できる。</p>					
総合評価	<p>事業計画書、協定書、仕様書等に基づき適正に管理されている。利用者の向上のため、積極的にメディア(新聞)に宣伝活動をする等、新たな取り組みに対する姿勢が高く評価できる。</p> <p>今後も地元の方々と連携しながら、民俗資料収蔵室の普及及び利用者増加、満足度向上に努めて欲しい。</p>					